

# ヤマシャクヤク

*Paeonia japonica* (Makino) Miyabe et Takeda  
ボタン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

生育地、個体数とも極めて少なく、園芸目的の採集等により減少した。

## 分布

本州（関東・中部地方以西）～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

山地の落葉広葉樹林の林床に生える多年草。根茎は横に這い、太い根を出す。茎は高さ30～40cm、3～4枚の葉を互生する。葉はふつう2回3出複葉で、両面とも毛はなく、裏面は白色を帯びる。5月、茎の先端に径4～5cmの白色の花を1個付け、上を向いて開く。

## 生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、山野草マニアによる園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県自然保護課編（2004）  
福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○		○				○			○			○	○	

# ヤシャビシャク

*Ribes ambiguum* Maxim.  
スグリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

特殊な環境に生育し、全生育地で個体数が限られている。

## 分布

本州から九州に分布。県内では奥越、丹南、嶺南西部に見られる。

## 種の特徴

落葉広葉樹の樹上に生える落葉低木。約1mになる。葉は互生し、腎円形、直径3～5cm、浅い鋸歯がある。花期は4～5月。花は短枝につき、淡緑色、直径約1cm。果実には針状の毛が生える。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限。

参考文献 茂木透他（2000b）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○						○	○						○	○	

# エズスグリ

*Ribes latifolium* Jancz.  
スグリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地に限られ、個体数も少ない。全国的にも産地が限られる。

## 分布

北海道～本州（中部以北）に分布。県内では奥越に分布する。

## 種の特徴

山地に生える落葉低木。葉は互生し、掌状に3～5裂、重鋸歯がある。花期は5～6月。総状花序に紅紫色の花を6～12個つける。萼筒は鐘形、花弁は萼筒の上部につく。果実は赤く熟す。

## 生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移。

参考文献 茂木透他（2000b）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	